

兵庫教育大学附属小学校・中学校における教科書採択手続きについて

国立大学法人が設置する義務教育諸学校の教科書採択については、校長が行うこととされているが、本学附属小学校・中学校においては、校内に明確な教科書選定に関する定めがなく、各教科担当教員が選定した教科書を校長が決定している現状である。

一方、令和5年3月31日付文部科学省初等中等教育局長通知「教科書採択における公正確保の徹底等について（通知）」において、教科書採択の公正確保の徹底に万全を期すように求められていることから、今後、本学附属小学校及び中学校における教科書採択については、以下のような手続きで進めることとしたい。

なお、今年度は、小学校の令和6年度使用教科書について、令和4年度に採択したものと異なる教科書を採択することができることとなっていることから、以下の手順にそって教科書採択手続きを進め、8月31日までに教科書採択を行っていきたい。

○教科書採択手続き

- ①校長は、附属小学校及び中学校に、「教科書調査委員会」及び「教科書選定委員会」を設置する。
- ②・教科書調査委員会は、教科書の調査研究を行って、教科書採択の参考となる資料を作成し、教科書選定委員会へ報告する。
 - ・教科書調査委員会の構成員は、各校の教科部会等の教員で構成するものとし、委員は校長が選任する。
 - ・教科書調査委員会の委員の選任にあたり、校長は、当該委員候補者が教科書発行会社等と利害関係がないことを確認するため、当該委員候補者に対して教科書発行会社等と利害関係が無い旨の誓約書を求めるものとする。
- ③・教科書選定委員会は、教科書調査委員会が作成した資料・報告も踏まえ、審議を行い、採択すべき教科書の選定を行う。
 - ・教科書選定委員会の構成員は、校長、副校長、教務主任、保護者、学識経験者等で構成するものとし、委員は校長が選任する。
 - ・教科書選定委員会の委員の選任にあたり、校長は、当該委員候補者が教科書発行会社等と利害関係がないことを確認するため、当該委員候補者に対して教科書発行会社等と利害関係が無い旨の誓約書を求めるものとする。
 - ・教科書選定委員会の委員長は校長とする。
- ④教科書選定委員会の審議内容を受けて、校長が採択する教科書を決定する。
- ⑤校長は、採択した教科書を学長に報告する。
- ⑥校長は、採択した教科書の需要数を兵庫県教育委員会へ報告する。
- ⑦校長は、教科書の採択結果及びその理由等について公表する。

小学校・中学校 教科書選定手続きフロー図

1. 教科書調査委員会及び教科書選定委員会の設置

- ・校長は、教科書調査委員会を設置し、委員は各教科部会等の教員から校長が選任する。
- ・校長は、教科書選定委員会を設置し、校長を委員長として、委員は副校長、教務主任、保護者、学識経験者等から校長が選任する。
- ・委員の選任に当たっては、当該委員候補者が教科書発行会社等と利害関係がないことを確認するため、誓約書を求める。

2. 教科書調査委員会での調査

- ・教科書調査委員会は、教科書の調査研究を行って、教科書採択の参考となる資料を作成し、教科書選定委員会へ報告する。

3. 教科書選定委員会での審議

- ・教科書選定委員会は、教科書調査委員会が作成した資料・報告も踏まえ、審議を行い、採択すべき教科書の選定を行う。

4. 採択する教科書の決定

- ・校長は、教科書選定委員会の審議内容を受けて、採択する教科書を決定する。

5. 採択した教科書の報告

- ・校長は、採択した教科書を学長へ報告する。
- ・校長は、採択した教科書の需要数を兵庫県教育委員会に報告する。

6. 採択した教科書の公表

- ・校長は、教科書の採択結果及びその理由等について公表する。

教科用図書採択の基本方針

兵庫教育大学附属中学校

教科用図書は、教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材として、全ての生徒が用いるものであり、教育上極めて重要な意義を持つものである。そのため、その採択にあたっては、いかなる疑念の目も向けられないよう公平性及び透明性の確保を徹底することが必要である。そこで、本校では下記の方針により、別に定める採択基準等に基づいて採択にあたるものとする。

記

- 1 教育基本法、学校教育法に示された教育の目標を踏まえるとともに、学習指導要領の趣旨に即し、各教科の目標を達成するのに適した教科用図書を採択すること。
- 2 附属学校園としてのミッションとビジョンを踏まえるとともに、本校の特色や実態を考慮して、生徒に適した教科用図書を採択すること。
- 3 教科用図書の内容の調査研究にあたっては、人権の観点を尊重するとともに、採択の手続き等については、法令等の趣旨や内容に基づき綿密に行い、公正かつ適正に行うこと。
- 4 教科用図書選定の過程においては、学識経験者や保護者等の意見が反映されるように配慮し、開かれた採択の推進に努めること。
- 5 採択結果及び採択理由等の周知・公表に努めるなど、透明性の一層の向上を図ること。

令和 7 年度使用教科用図書 採択一覧

兵庫教育大学附属中学校

教科	発行者	採択理由
国語	教育出版株式会社	学習者の興味・関心を刺激し、現代社会への意識を喚起させたり、多様な解釈を生み出せたりする教材が適切に配列されている。またどの単元においても、目標から振り返りに至る一連の学習過程が用意されており、学習の取り組み方が明示されている。
書写	教育出版株式会社	文字を効果的に書くことについて、発達段階を考慮した教材が取り上げられており、日常生活や学習活動に活用できるよう工夫されている。また、コラムや二次元コード等の資料により、手書き文字の特徴や文字の移り変わりなど、書写へ興味・関心をもてるよう配慮されている。
地理	東京書籍株式会社	各学習課題が単元を通して追求する学習テーマに即して適切に設定されており、重要語句が本文上に太字で、用語解説が側注や巻末に取り上げられている。また、学習したことを生かせるように、身近な地域の将来像を構想する「持続可能な地域の在り方」が各地域の最後に用意されている。
歴史	株式会社帝国書院	生徒が主体的・能動的に学習に取り組む上で活用しやすい教材や基本的な事項を自主的に定着させる問いが多く、世界の歴史を背景として考えたり、時代の特色を追究したりするための資料が充実している。また、世界の動きの中での日本をとらえられるよう工夫されている。
公民	株式会社帝国書院	質の高い写真資料が豊富で、生徒に社会を身近に感じさせ、自ら学ぶ意欲が喚起できるよう工夫されている。また、地理的分野及び歴史的分野の学習の成果を活用するとともに、現代社会の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びができるように構成されている。
地図	東京書籍株式会社	各分野の目標を達成できるよう、基本となる地図や関連した資料は、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。また、自ら調べたり考えたりする学習課題も用意されており、その課題をテーマに意見交流ができるよう工夫されている。
数学	東京書籍株式会社	日常の身近な場面から問いが始まることで、課題を解決するための数学となるよう工夫されている。また、実社会や他教科の学習に数学を活用する題材が、現代的な諸課題の視点から選定されており、生徒の課題意識を高めるとともに、教科横断的な授業づくりになるよう配列されている。
理科	株式会社 新興出版社啓林館	単元末に習得した知識・技能を活用して単元の学習から生じた疑問を探究する課題が提示されており、学びが深まるよう工夫されている。また、本文が見開きページ中央に寄せられ、両端に写真や図が多く配置されていて、探究の進め方を視覚的に理解しやすいページ構成になっている。

音楽	株式会社教育芸術社	見開き左に学習目標があり、教材ごとに活動のねらいも示されており、見通しをもって学習することができる。また、創作のためのツールを二次元コードから読み取り、使用することができ、鑑賞においても音源だけでなく、映像も豊富で、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。
器楽	株式会社教育芸術社	どの楽器も写真や説明文を多数使用することで、楽器についての知識とともに、基礎的な奏法が確実に身に付けられるよう配慮されており、段階を追って学習できるように工夫されている。また、学習する楽器のはじめに鑑賞教材が用意されており、器楽分野と鑑賞分野を関連付けて学習することができる。
美術	日本文教出版株式会社	小学校図画工作の学習からの連続性と中学校の発達段階を考慮した題材が配列されており、生徒の成長に応じて系統立てた学習ができるようになっている。また、題材のはじめに表現につながる鑑賞作品を示し、作品から感じた思いや考えを広げられるよう工夫されている。
保体	大日本図書株式会社	1時間の学習の流れがしっかりと明記されているとともに、様々なグラフや統計資料が用意され、データを読み解く力が養えるよう工夫されている。また、他教科と関連付けた内容が掲載されており、教科横断型の学習ができるよう配慮されている。
技術	東京書籍株式会社	技術の見方・考え方を働かせて問題解決能力が身に付くよう構成されており、具体的な実習例も豊富に掲載されている。また、知識・技能の内容については二次元コードを読み取り、補えるよう配慮されている。
家庭	東京書籍株式会社	実習例が見開きで確認できるようになっており、学習や作業全体が把握できるよう工夫されている。また、動画やワークシートなどのデジタルコンテンツも充実しており、生徒が意欲的に学べるよう配慮されている。
英語	株式会社三省堂	親しみやすい教材により、ストーリーを楽しみながら学び、深めることができる。また、バックワード（ゴール設定形式）にデザインされたレッスン構成になっている。そして、Can-Doリストに示された5つの領域の目標にむかって各学年で段階的に学べる構成になっている。小中連携、中高連携も意識された内容にもなっている。
道徳	あかつき教育図書株式会社	教材のねらいを明確にすることで、重点的に学んだり、他教科との関連や現代的な諸課題のテーマを意識して学んだりできるよう配慮されている。また、授業の流れを意識した発問が設定されており、ねらいに向かって生徒が考えを深めていくことができるように工夫されている。